

厚生常任委員会

資料

令和4年9月14日（水）

病院局

目 次

【その他報告事項】

- I 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について … 1 頁
- II 県立宮崎病院におけるダ・ヴィンチの運用状況について … 2 頁

【その他報告事項】

I 新型コロナウイルス感染症に係る県立病院の取組について

経営管理課

1 県立病院におけるこれまでの取組状況

(1) 患者受入状況

(R4.9.7現在)

病院名	確保病床数	累計受入数 (R4受入数)	現在受入数
宮崎病院	7床(感染) 20床(一般) 計27床	654人 (339人)	14人
延岡病院	4床(感染) 12床(一般) 計16床	378人 (207人)	6人
日南病院	4床(感染) 6床(一般) 計10床	187人 (96人)	2人
合計	15床(感染) 38床(一般) 計53床	1,219人 (642人)	22人

※ 患者急増時には、病床を追加で確保し、患者の受入れを実施

(2) 主な取組（令和4年度）

- ① 他の受入医療機関との役割分担のもと、中等症以上の患者や看護必要度の高い患者の積極的な受入れを実施
- ② 新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種会場やワクチンバス（小児接種）等において、医師、薬剤師及び看護師がワクチン接種業務に従事し、ワクチン接種の推進に協力
- ③ ひまわり荘敷地内に開設された自宅療養者初期治療センターにおいて、入院・外来診療のひっ迫回避のため、医師が食事が摂れない患者や症状悪化を訴える患者に対し、点滴加療や処方などの医療的措置を実施

2 今後の対応方針

新型コロナウイルス感染症患者の持続的・安定的な受入れに向けた院内体制を維持しつつ、地域の医療機関とも連携しながら、県立病院が本来担うべき救急医療や高度・急性期医療等との両立を図っていく。

II 県立宮崎病院におけるダ・ヴィンチの運用状況について

経営管理課

1 ダ・ヴィンチの概要

1990年代に米国で開発された手術支援のための医療機器。1～2cmの小さな穴より内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、3Dモニター画像を見ながら医師の手の動きを正確に再現する精密な内視鏡手術を行うことができる。

(参考：導入価格 226,800千円)



【導入効果】

- (1) 術者（医師）は拡大した視野の下で操作を行えるため、人の手に比べ正確で細かい動きが可能となる。
- (2) 内視鏡手術により傷口が小さく、出血量や痛みの少ない低侵襲な治療が可能となるため、患者の身体的・精神的な負担が少ない。
- (3) 診療機能の向上が図られるとともに、研修施設としての魅力が高まることで医師・看護師等の人材確保に繋がることが期待できる。

2 運用状況（令和4年8月31日現在）

(1) 実績

対象分野：泌尿器科、産婦人科 → 令和4年3月開始

外科（呼吸器外科分野）→ " 6月開始

執刀医等：8名（術者4名・助手4名）

※ 医師7名が術者ライセンス取得に向け研修中

手術実績：36件（泌尿器科：22件、産婦人科：9件、呼吸器外科：5件）

症 例：泌尿器科において腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術を実施。

従来の手術と比べて傷口が小さく、出血も少ない（従来の1/3以下）ことから、1～4日程度、早期退院が可能となった。

[参考：月別手術件数]

	令和4年3月	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	合計件数
泌尿器科	3	1	5	4	5	4	22
産婦人科	3	0	1	1	3	1	9
外科（呼吸器外科）	-	-	-	1	2	2	5
計	6	1	6	6	10	7	36

(2) 今後の運用について

- ① ダ・ヴィンチの機能を最大限に発揮できるよう、医師のライセンス取得に要する研修や看護師等の実機を用いたトレーニングなどを行い、手術件数の増加や対象診療科の拡大を図る。

※ 今後、拡大予定の診療科：耳鼻咽喉科・頭頸部外科

- ② ダ・ヴィンチ手術の優位性や手術症例等について、病院ホームページや医療機関向けの広報誌などによる情報発信を行い、より多くの紹介患者等の確保を図る。